

指定管理者評価シート

事業名	札幌市リサイクルプラザ運営管理	所管課(電話番号)	環境局環境事業部循環型社会推進課(211-2928)
-----	-----------------	-----------	----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市リサイクルプラザ (通称リサイクルプラザ宮の沢)	所在地	西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ1F
開設時期	平成12年8月	延床面積	351.5㎡
目的	市民が、廃棄物の減量及び資源の有効利用(以下「廃棄物の減量等」という。)に関する知識と理解を深めることができる場所を提供することにより、その意識の啓発を図るとともに市民の廃棄物の減量等に関する自主的な活動を支援し、資源が循環して利用される社会の形成に寄与すること。		
事業概要	不用品の有効活用に関する場の提供、ごみ減量・リサイクルに関する情報提供、ごみ減量・リサイクルに関する相談		
主要施設	エコ相談コーナー、情報コーナー、展示コーナー		
2 指定管理者			
名称	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業計画及び実施業務、その他付随する業務		
3 評価単位			
	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼ 統括業務管理計画を作成し、「責任者の配置に関する方針」に沿って、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者を配置した。 ▼ 令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止について、札幌市の対策に準じ、必要に応じて協議しながら事業を実施した。 ▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績	第四期指定管理者の5年目は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、計画通りに進めることができた。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 要求水準を満たしており、適切に統括管理業務が実施された。	A	B	C	D
A	B	C	D				

▼平等利用を確保するために、リサイクルプラザにおける入館の制限及び販売行為等の許可に関する審査基準を定めている。(今年度は入館制限や販売行為等が不許可となった事例はない。)

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、節電・資源リサイクル等の環境保全計画書を作成の上、実施した。また、当施設の事業は、ごみ減量・リサイクルがテーマであり、参加者を増やすことが環境配慮の推進につながるため、事業の紹介や情報提供を積極的に行った。

※(6)付随業務(広報業務)のとおり。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼統括業務管理計画に基づいた運営組織図を作成し、業務統括責任者及び職員を配置した上で、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者の配置を行った。

▼主にオンラインを中心に外部の研修を受講したほか、新型コロナウイルス防止対策を十分に行ったうえで、道外にも赴き、スキル向上に務めた。

(職員研修内容)

5月:セミナー「空き家対策事業ごみステーションに出せないごみと多量ごみ」(1名)

5月:講演「環境学習施設のつくり方」(ZOOM)(1名)

6月:セミナー「空き家対策事業」(ZOOM)(1名)

6月:新港東4丁目海岸のごみ拾いイベント参加(1名)

7月:講演「プラスチックごみの削減とプラスチック資源循環促進法」(ZOOM)(1名)

9月:講演「環境ベンチャーに学ぶ」(ZOOM)(1名)

9月:NPOの課題解決(アーカイブをYouTube視聴)(1名)

10月:講演「生物多様性と私たちの生活」(YouTube視聴)(1名)

11月:静岡県北富士市新環境クリーンセンター等の視察(1名)

12月:エコグリーンピアはりま見学(兵庫県加古川市)、京都市「ゼロウェイストスーパー」視察(1名)

2月:Refillサミット2023 in 京都 公開セッション(ZOOM)(1名)

2月:札幌市公式ホームページ担当者レベルアップ研修(2名)

2月:NPO法人向け 事務力強化セミナー(ZOOM)(1名)

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼月に2回、職員の全体会議を行い、組織内の情報を共有して、各業務の見直しと改善をした。また、職員研修を積極的に行い、職員全体の能力向上に取り組んだ。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼リユース家具・自転車の運搬業務を委託。1年ごとに契約書を交わし、毎月、担当者による業務完了の確認を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 6月6日	▼4月～5月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼第5期指定管理について ▼アンケート調査や備品等
第2回 10月28日	▼6月～9月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼第5期指定管理について ▼次期(2030年)ちえりあ改修工事に係る方針について
第3回 1月19日	▼10月～12月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼業務車両の貸与について ▼教室・講座参加費について
第4回 3月15日	▼1月～3月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼2023年度目標値について ▼コロナ対応(マスク着用義務)等
<p><協議会メンバー> 循環型社会推進課: 課長・係長・担当者(計3名) 環境リ・ふれんず: 代表理事2名・理事1名・正職員1名(計4名)</p>	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理は、リサイクルプラザ事務所と本部事務所に会計担当者が会計ソフト「NPO会計」を活用し行い、担当理事が会計管理を行った。また、当会の監事(2名)及び札幌市による監査を行い適正処理している事の確認が行われた。

▽ 要望・苦情対応

▼市民からの要望・苦情が寄せられた場合は、速やかに札幌市へ報告し、報告書を作成して、職員で共有することで、クレームの再発防止等に努める体制を確立している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼業務日誌により施設管理業務に関する日常業務の記録を行った。また、年2回の来館者アンケートと講座・教室・講演会の参加者へアンケートを行い、市民のニーズを調査して、次年度事業の計画に反映した。
月次報告や特記事項などは速やかに札幌市へ提出した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設で働く職員に対し、最低賃金920円以上(令和4年10月改定)の時給を支給した。 ▼令和4年度は時間外労働・休日労働及び深夜業の内容を含む労働はなかった。 ▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間以内の労働時間を遵守した。 ▼条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、健康保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ▼最低賃金が上がっていることや、勤続年数・スキル・モチベーション等を考慮して、職員の昇給を実施した。 ▼厚生労働省の働き方改革関連法に関するハンドブックを参考にして、労働・職場環境の改善に努めた。 ▼全職員、有給休暇を年間5日以上消化させた。 ▼労働者の安全と健康を確保するため、全職員は1年に1回定期健康診断を実施して、労働保険(労災保険)に加入した。また、職場のパワーハラスメント等の雇用管理の改善に関する相談窓口を2020年度から設置している。 	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 要求水準を満たしており、適切に労働関係法令遵守、雇用環境維持向上業務が実施された。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に労働関係法令遵守、雇用環境維持向上業務が実施された。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に労働関係法令遵守、雇用環境維持向上業務が実施された。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼事業に関係する行事参加者傷害保険に加入し、利用者の安全の確保に努めた。また、Jアラート発令時の新たな緊急時対応マニュアルを作成した。 ▼利用者の施設利用の支障にならないよう、イベント等の開催スケジュールに配慮するとともに、広報誌において実施の周知を図った。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼リサイクルプラザの施設・設備等の維持に関する清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理について、仕様書のとおり実施した。 	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。											

	<p>▽ 防災</p> <p>▼年5回、ちえりあでの消防訓練参加や防災設備点検、マニュアル作成等を実施。 (4月:第1回ちえりあ消防訓練) 館内避難経路、消火器の配置図、その他消防設備に関する資料で、防災に対する意識や理解を深めた。 (7月:消防設備の半年点検) リサイクルプラザの館内・事務所・2Fスタッフルームで、昨年度の改修工事で更新した消防設備(感知器等)の半年点検を実施。 (8月:ちえりあ防災訓練) 火災を想定して避難訓練を行った。統括責任者が参加して情報を全職員で共有した。 (11月:マニュアルの作成) 世界情勢を鑑み、Jアラートが発令した際の対応について、札幌市循環型社会推進課・ちえりあ・リサイクルプラザで確認し合い、マニュアルを作成した。 (3月:第2回ちえりあ防災訓練) 地震発生時の情報伝達と自衛消防団の役割(資料の情報を全職員で共有)</p>										
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ ごみ減量・リサイクルに関する学習機会の提供業務</p> <p>▼前年度までのモニタリングの結果を基に、各教室等の内容を市民のニーズに合わせて計画・実施した。</p> <p>▼出張講座を20回実施。 参加者81人(定員100人・申込み107人)</p> <p>▼リフォーム教室を27回実施。 参加者139人(定員156人・申込み316人)</p> <p>▼エコ教室を38回実施。参加者104人(定員114人・申込み178人)</p> <p>▼映画会を1回実施。コロナ対策として定員を半数にした。 定員200人、参加者185人。</p> <p>▼7、8月にごみ処理施設見学会(古潭海岸のビーチコーミング)を2回実施。参加者36人。(定員40人、申込261人)</p> <p>▼出前講座を14回(参加163人)実施。リユースプラザ、地区センター等から申し込みがあった。 ・プラスチックごみについて 1回 ・古布で布ぞうり 1回 ・網戸の張替え 2回 ・親子教室スノードーム作り 1回 ・包丁の研ぎ方 9回</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>要求水準について未達成となったものがあつたが、外部要因(新型コロナウイルス感染拡大)の影響によるものであり、指定管理者が相当努力しても達成できなかったものと認められる。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▼施設見学を10回実施。参加77人。
 コロナ禍により小学校などの団体申込がほとんどなく、申込後にキャンセルになった例もあった。

▽ ごみ減量・リサイクルに関する情報収集及び提供業務

▼図書・DVDコーナー

貸出件数：図書889件、DVD7件、かるた0件

①貸出頻度の高い本を調べ、ランキングを発表した他、毎月1冊程度、新入荷本を追加して利用者増に努めた。

②札幌市より絵本20冊の寄贈を受けた。

③利用者の利便性の向上のために2018年度から開始した図書カードは、3月末現在、407名の利用者に発行している。

▼特設展示コーナー

12回開催。

4月 SDGs写真展（西区環境まちづくり協議会）

5月 海洋プラスチックごみ問題啓発展示
 （北海道容器包装の簡素化を進める連絡会・札幌市
 ごみ減量実践活動ネットワーク）

6月 絵本で出会う3R（札幌市ごみ減量実践活動
 ネットワーク）

7月 私たちにできるSDGs（札幌第二友の会）

8月 西区環境まちづくり協議会の取り組み
 （西区環境まちづくり協議会）

9月 助けよう！家庭から実践するSDGs（札幌第
 三友の会）

10月 古着・古布のリメイク（なんでもリメイクサークル）

11月 フェアトレード（環境友好雑貨店これからや）

12月 家にあるもので作るお正月飾り

（プラザボランティア陽だまりの会）

1月 さっぽろスリムネットごみ減量ポスターコンクール作品展

（札幌ごみ減量実践活動ネットワーク）

2月 元気なうちにお片付け（北のごみ総合研究所）

3月 リメイク作品展（リサイクルプラザボランティア）

▼不用品又は需要品情報の提供で「ゆずります・ゆずってください」コーナーを施設内の掲示板で行なった。掲示場所をより目立つ場所に変更した結果、利用が増えた。

申込み49件（前年度からの持越し件数1件、次年度への持越し件数2件）、成立14件、交渉不成立26件、キャンセル7件

▽ ごみ減量・リサイクルに関する市民の自主活動及び交流の支援業務

▼市民ボランティアスタッフ登録者37名。活動日数156日間、参加人数延べ544名。
コロナ感染防止対策として一部ボランティアの活動内容を変更して対応。おもちゃ病院は、ボランティアによる対面での受付をやめ、職員が受付をした。各教室の講師、おもちゃ病院、ごみ減量相談の受付、情報紙の編集、展示など、様々な事業で活動を行った。

▼他団体との交流事業を年間10回実施した。

- ①5月[施設運営を語りあう『運営組織の作り方～人材と育成』]
環境学習施設研究部会・多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター等
- ②7月「ごみ問題を知り、生ごみ堆肥化を学ぶ」
札幌市立南の沢小学校
- ③7月「西区SDGsフォトコンテスト」
西区役所、環境局、西区環境まちづくり協議会等
- ④8月「食べる・たいせつフェスティバル2022」
コープさっぽろ、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会等
- ⑤9月「西区区制50周年記念スポGOMI大会」
日本財団 海と日本プロジェクト、札幌市西区役所、三角山放送局等
- ⑥9月「西区こども環境広場」
(公社)札幌市子ども会育成連合会西区支部、五天山自然観察クラブ等
- ⑦10月「プラスチックごみ展示会in市役所ロビー」
札幌市、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会
- ⑧10月「プラスチックごみ問題展示会inイオンモール札幌苗穂」
イオン北海道株式会社、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会
- ⑨12月「環境展示会in北海道庁」
北海道、札幌市、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会
- ⑩講演「レジ袋有料化の店頭調査」
北海道大学、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会

▼おもちゃ病院(年間修理受付件数446点)
おもちゃを修理するおもちゃドクターが14名在籍している。コロナウイルス対策として、全体会議や修理方法勉強会は行わず、メモで情報共有した。日本おもちゃ病院協会に在籍しており、全国のおもちゃ病院の情報を共有し、修理に必要なパーツや、おもちゃ修理に関わる道具を取り寄せて活動に活かしている。

▽ ごみ減量・リサイクルに関する相談業務

▼ごみ減量相談: 電話や受付カウンターでのごみ減量・分別相談を行い、それを職員で共有して相談業務の質を向上させた。

▼エコ相談(年間153日): 毎月1日～15日の10時～15時まで開催。生ごみの堆肥化・ごみの分別・おもちゃ修理などを、市民ボランティアや職員により行った。担当ボランティアスタッフに、日報に質問・要望などを記入してもらい、担当職員がコメントして内容を工夫していくようにした。また、全職員に日報を回覧して周知徹底した。

(5)施設利用
に関する業
務

▽ 利用件数等

年間308日開館。
来館者75,968人。

		令和3年実績	令和4年計画	令和4年実績
年間 来館者	件数(件)	/		
	人数(人)	14,347		75,968
	稼働率(%)	/		
出張講座	件数(件)	30	20	20
	人数(人)	108	/	81
	稼働率(%)	72	80	81
リフォーム 教室	件数(件)	4	30	27
	人数(人)	11	/	139
	稼働率(%)	58	80	89
エコ教室	件数(件)	7	40	38
	人数(人)	20	/	104
	稼働率(%)	83	80	91
ごみ処理 施設 見学会	件数(件)	実開催の 代替えとし てバーチャ ル体験動 画を制作 (視聴回数 611)	2	2
	人数(人)		/	36
	稼働率(%)		80	90
出前講座	件数(件)	7	10	14
	人数(人)	38	/	163
	稼働率(%)	/	/	/
エコ映画会 (講演会 エコトーク 映画会)	件数(件)	オンライン 上映で実 施(視聴回 数232)	1	1
	人数(人)		200	185
	稼働率(%)		80	93
施設内 見学	件数(件)	9	/	10
	人数(人)	59	/	77
	稼働率(%)	/	/	

適切に実施するこ
と
ができた。

A	B	C	D

要求水準につい
て未達成となっ
たものがあつた
が、外部要因(新
型コロナウイルス
感染拡大)の影
響によるもので
あり、指定管理
者が相当努力し
ても達成できな
かったものと認
められる。

▽ 利用促進の取組

全ての事業で感染拡大防止を徹底した。

・定員を制限(会場の定員の半数以下に設定、定員より多い人数を受付するキャンセル対策の一時停止等)

・消毒、換気、マスク着用などを徹底。

・感染者数の多い時期の開催を見送り延期して対応。

▼リフォーム教室、エコ教室

ニーズの高い教室は、午前・午後で開催して、回数を増やした。また、新規で「うちのお片付け講座」を開催。

▼出張講座

昨年度は1日3回開催していたが、3回目の講座の参加率低かったため、利用者のニーズを考慮して、1日2回で開催した。

▼ごみ処理施設見学会

感染防止対策として、参加者数はバス乗車定員の半分とした。また、見学先を屋外にして、昼食前に解散できるようにした。

▼エコ映画会

2022年度は感染防止対策を取りながら、ちえりあホールで開催。対策の一つとして、定員400人会場のところを半分の200人定員とした。

リユースをテーマとし台湾のストーリー映画『台北カフェ・ストーリー』を上映。参加者185人。

また、映画とタイアップした新しい企画として、上映後にハワイにて「物々交換会」を実施した。102人参加。

▼出前講座

通常実施している内容のほかに、布ぞうりや親子教室スノードーム作など、主催者のニーズに柔軟に対応した内容で14回実施した。

▼施設見学

コロナ禍の影響で団体の申込がほとんどなく、また中止となった申込もあったが、感染症拡大防止に努めながら10回実施した。

▽ 再利用品の展示・提供に関する業務

▼札幌市の大型ごみで「再利用希望」として出されたリユース家具・自転車・遊具の抽選・即売事業を行った。

隔月でフェアを開催した。市民のニーズを考慮して6月は新規で遊具・ベビーカーフェアを開催。(9月1人掛け用イス、11月袖机、2月学習机、3月自転車)

展示数:747点、提供数:694点(内即売提供47点)、
申込者数5,751名、販売金額:2,460,570円
前年度(展示数:659点、提供数:397点(内即売提供161点)、申込者数1,181名、販売金額:1,147,120円)

▼リユースコーナーで不用品活用の促進を行った。
持ち込み人数5,927人・新規預り109,022点・提供数105,425点
530(ゴミゼロ)基金の募金箱を設置し、リサイクルプラザのごみ減量に関わる市民還元事業などに活用した。(令和4年度寄付金総額162,305円)

▽ リユース食器の貸出に関する業務

▼「リユース食器」の貸出

新型コロナウイルスの影響で、飲食を伴うイベントの自粛が相次いだため実績がなかったが、以下のように準備を進めた。

- ・情報収集として、リユース食器に係る事業を実施している全国の団体(リユース食器ネットワーク)から情報収集。
- ・運搬無料サービスの実施。
- ・利用料金の見直して、案内チラシを作成した。
- ・過去、利用団体に通知した。

(6)付随業務	▽ 広報業務	適切に実施することができた。	A B C D
	<p>▼リサイクルプラザが実施した広報によって、施設を利用した市民の割合。(利用者アンケート400名より) 上期70.8% 下期83.4%</p> <p>▼HPはタイムリーな情報提供を心掛け、年間123回の更新をした。(年間閲覧数累計46,068件)</p> <p>▼月間の事業内容を掲載している「プラザ事業ニュース」を毎月25日に発行(計12回21,900部)利用者増に合わせ、月によって発行部数を増やした。</p> <p>▼ごみ減量情報紙「ごみニュケーション」を年2回16,000部発行。9月は45号『小型家電、ごみにしないでリサイクル!』、3月は46号『電池ってどうやって捨てるの?』を特集し市民からの問い合わせの多いごみ分け方法の情報を盛り込んだ。ともに市内約170か所の関係団体に送付。</p> <p>▼YouTubeやFacebookやInstagramなどのSNSを活用した情報発信を行った。</p> <p>▼HPウェブアクセシビリティのAA準拠のため新たにホームページを作成することとし、ホームページ制作会社と契約し、準備を進めた。事前にHP階層の見直しを行い、新たなホームページの基盤となるものを作成した上で、制作会社には使用画像などの素材を提供した。費用の関係で、2022年度内に完成することはできなかったが、次年度中の完成に向けて準備を進めた。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼年度末に全事業のマニュアルを2023年度用に改定した。 (総務・再利用品展示提供業務・広報業務・学習機会の提供業務・情報収集及び提供業務・意識啓発業務・市民ボランティア業務・リユース食器業務・相談業務・受付カウンター業務・販売管理業務・クレーム対応・事故等の緊急対応)</p>		<p>要求水準について未達成となったもの(HPウェブアクセシビリティのAA準拠等)があったが、達成に向け準備が進められており、次年度達成の見込みが高いことから適切であると認められる。</p>

2 自主事業その他		A	B	C	D
<p>▽ 自主事業</p> <p>自主事業計画と新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき実施した。自主事業で生じた利益は市民還元事業に活用した。</p> <p>▼リサイクル・リフォーム・エコに関する商品を選定し市民に提供した。</p> <p>▼リユースの推進を図ることを目的に例年行っているフリーマーケットは、混雑が予想されるため中止。しかし問い合わせが多かったため、市民のニーズに応える形で、「ちょこっとフリマ」という名称で販売コーナーを設置した。元々あるショーケースの上を使い、密にならないように品物を少しずつ陳列して販売した。</p> <p>▼エクステンジ(洋服の交換会) 毎月、エコ広場期間中に実施している。6月から利用方法を一部変更。持ち帰りには基本的に引換券を必要とする代わりに、引換券なしで持ち帰りができる展示品コーナーを拡大。 【令和4年度利用状況】 持ち込み:人数1,881人、点数4,937点 持ち帰り:人数2,078人、点数3,875点</p> <p>▼「北海道容器包装の簡素化を進める連絡会」の事業に事務局として参加することで、市民に海洋プラスチックごみ問題や、レジ袋の有料化、他団体の容器包装簡素化等の取り組みについて啓発することができた。</p> <p>▼札幌市・ちえりあ主催事業 「環境広場さっぽろ2022」に「ごみ分別レベル診断」というごみの分け方クイズコーナーを出展。主催:札幌市</p> <p>▼「ちえりあフェスティバル」参加。(9月) 館内で「530(ごみゼロフェア)」を開催し、市が提供のマイバッグの配布。また、9月の家具と自転車を特別価格で抽選販売で提供した。</p> <p>▼毎月1回、全国の環境学習施設関係者で構成されている「環境学習施設研究部会」とZOOMで意見交換を行った。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼事業に関係する企業の活用は、可能な限り札幌市内の事業者を選定した。</p> <p>▼自主事業の販売品は、市内の福祉作業所施設で製造している品を中心に仕入れることで配慮した。</p>	<p>適切に実施することができた。</p>				<p>いずれの項目も要求水準を満たしており、適切である。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		適切に実施することができた。	A	B	C	D
実施方法	<p>▼リサイクルプラザ利用者アンケートとして、リサイクルプラザ宮の沢の施設来館者に上半期・下半期の2回、用紙配布により実施した。</p> <p>▼各教室・講演会等の参加者にアンケートを実施した。結果を分析して、年度内に活かす部分は活かし、以降に実施する事業に役立てた。</p>					
結果概要	<p>▼施設利用者アンケート(400人実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者23.9%、リピーター76.1% ・接遇:とても良い66.2%、良い30.3%、普通3.3%、あまり良くない0%、悪い0.2% ・満足度:とても満足した48.1%、ほぼ満足した43.5%、普通7.9%、少し不満0.5%、不満0% <p>▼事業アンケート(参加者合計545人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者73.1%、リピーター26.9% ・満足度:とても満足74.7%、満足20.2%、普通4.4%、少し不満0.5%、不満0.2% ・理解度:とてもよく理解できた71.0%、理解できた24.0%、理解できない部分があった5.0% 					
利用者からの意見・要望とその対応	<p>内容が難しい教室は1回では覚えきれないので、繰り返し受けたいという声が多かった。</p>					

4 収支状況				概ね計画どおり適切に実施することができた。	A B C D
▽ 収支 (千円)					
項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)	ほぼ計画通りに実施されており、適切である。	
収入	25,193	24,914	-279		
指定管理業務収入	24,170	23,941	-229		
指定管理費	22,030	22,030	0		
利用料金	290	61	-229		
その他	1,850	1,850	0		
自主事業収入	1,023	972	-50		
支出	25,193	24,910	-283		
指定管理業務支出	24,170	23,937	-233		
自主事業支出	1,023	972	-50		
収入-支出	0	4	4		
利益還元			0		
法人税等		44	44		
純利益	0	-40	-40		
▽ 説明					
<p>▼新型コロナウイルスの影響で、利用料金収入の決算額が計画額より少なくなった。</p> <p>▼自主事業については、利益を次年度事業に繰り入れているため、収入支出が同額となっている。</p>					

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持	<p>▼当団体の財務状況等は、借入金なしで運営している。また、事業ごとに収支計算書を作成し財務状況を管理しており、安定経営能力は選定時と同等である。</p>		
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	<p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>第四期指定管理期間の5年目。 コロナ禍ではあったが、臨時休館はなかった。 事業の実績としては、教育機関の出前講座や施設見学・イベントへのリユース食器の貸し出しなど、コロナへの警戒が必要な事業はまだ自粛傾向にあった。 しかしながら、事業・イベントの充実やSNS等の広報に力を入れたことや、テレビや情報誌に施設が取り上げられた影響もあり、年間来場者人数が過去最も多い75,968人となった。(7万人を超えたのが初めて)但し、その影響で業務量が増加したため、臨時職員を雇い入れることで対応した。今後、増員のための人件費の確保が新たな課題となる。</p> <p>これまでの経験(臨時移転)を活かした小スペースで行えるフリーマーケットや、家具と自転車を特別価格で提供するイベントを開催した。</p> <p>他団体との交流事業においては状況に合わせてオンライン参加とするなど効率的に事業を行った。また、新規利用者や若年層の獲得促進のために、SNSや動画の配信を活用して情報発信を行った。</p> <p>現在世界中がSDGsやカーボンニュートラルの推進などで、環境学習施設にとっては利用拡大傾向にある。新規事業や、既存の事業を時代に合うように工夫することなどで、まだまだ施設としての伸びしろは十分あると分析する。</p>	<p>第5期指定管理1年目の事業は、前年度まで実績の良い事業は継続して行い、逆に実績の低い事業の見直しを図る年度にする。また、コロナ禍で自粛していたイベントの開催を再開していきたい。特に教育機関と協同で行う事業など、若年層が参加できる事業を積極的に行う。</p> <p>リサイクルプラザの事業にボランティアスタッフは必要不可欠だが、人数確保や高齢化が課題となっている。広報の拡大による人員の確保とスキルアップ研修に力をいれていきたい。</p> <p>課題としている人件費は、他団体との連携や、自主事業を積極的に行うことで、事業費を節減して確保に務める。</p> <p>広報に関して、前年度に引き続き情報誌・HP・SNS・動画など幅広いツールを活用して、多くの方に情報が届くように努めたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>統括管理、労働・雇用環境、施設の維持管理について、所管局の要求水準を達成し適切である。</p> <p>2022年度は、感染症防止対策を行いながら各種事業やイベントの開催、SNSを活用した広報など、市民の利用を促進する取組を行ったことにより、過去最高の来館者数となったことは高く評価できる。</p> <p>前年度の改善事項である「若年層への来館促進」、「子供向け事業の継続実施」については、親子教室やおもちゃ病院など子供向けの事業を積極的に行っているが、アンケート結果から、10代と20代の利用者割合が伸び悩んでいることが分かる。既存事業に加え、教育機関と連携した事業を行うなどさらなる取組を行う必要があるといえる。</p>	<p>若年層への来館促進とごみ減量・資源化への関心を高めるための取組を行うこと。</p> <p>子供向けの事業を継続して積極的に実施し、周知を広めるために、さらなる広報を行うこと。</p> <p>ホームページの見直しについて、次期指定期間の初年度には対応すること。</p> <p>SDGsの達成目標やプラスチック資源循環促進法の制定など、目まぐるしく環境に関する取組等が変化する中で、市民が理解できるよう、分かりやすい普及啓発活動などを企画すること。</p>